

このまちの100年 「たまプラーザ・ 港北ニュータウン」

多摩田園都市は東急が昭和30年代に開発を開始した住宅地で、たまプラーザはその代表的なエリアのひとつです。港北ニュータウンは横浜市が昭和40年代に開発を開始。歩車分離、核となる施設の配置など、計画的な街づくりが行われています。



昭和42年頃

ひろたりあん通信提供

たまプラーザ団地は総戸数1,254戸の大規模団地。画像は完成前の様子



昭和42年頃

ひろたりあん通信提供

歩車道完全分離など新しい試みが行われた元石川第一地区(現在の青葉区美しが丘)



昭和54年

ひろたりあん通信提供

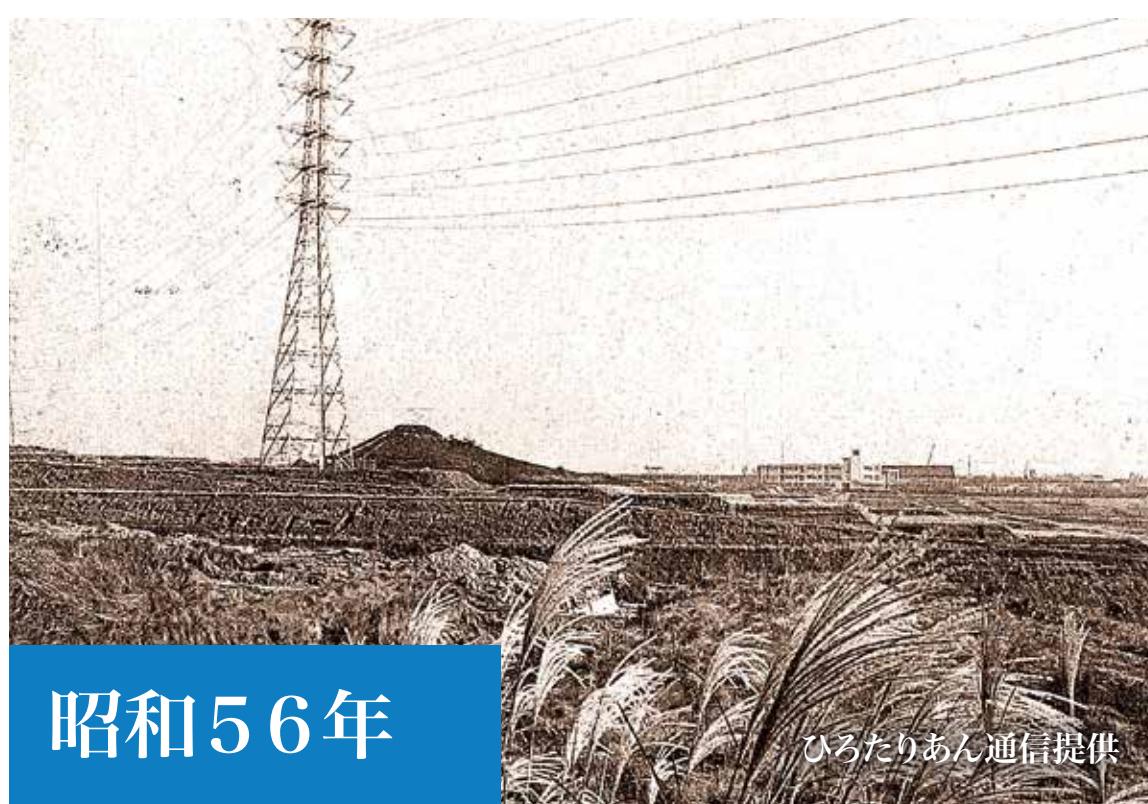
イトーヨーカドーたまプラーザ店がオープンした日の、たまプラーザ駅前の様子



昭和57年

東急株式会社提供

たまプラーザ東急SCの開業当時の様子



昭和56年

ひろたりあん通信提供

港北ニュータウンの造成工事の風景。現在の都筑区見花山4付近から南東方向を望む

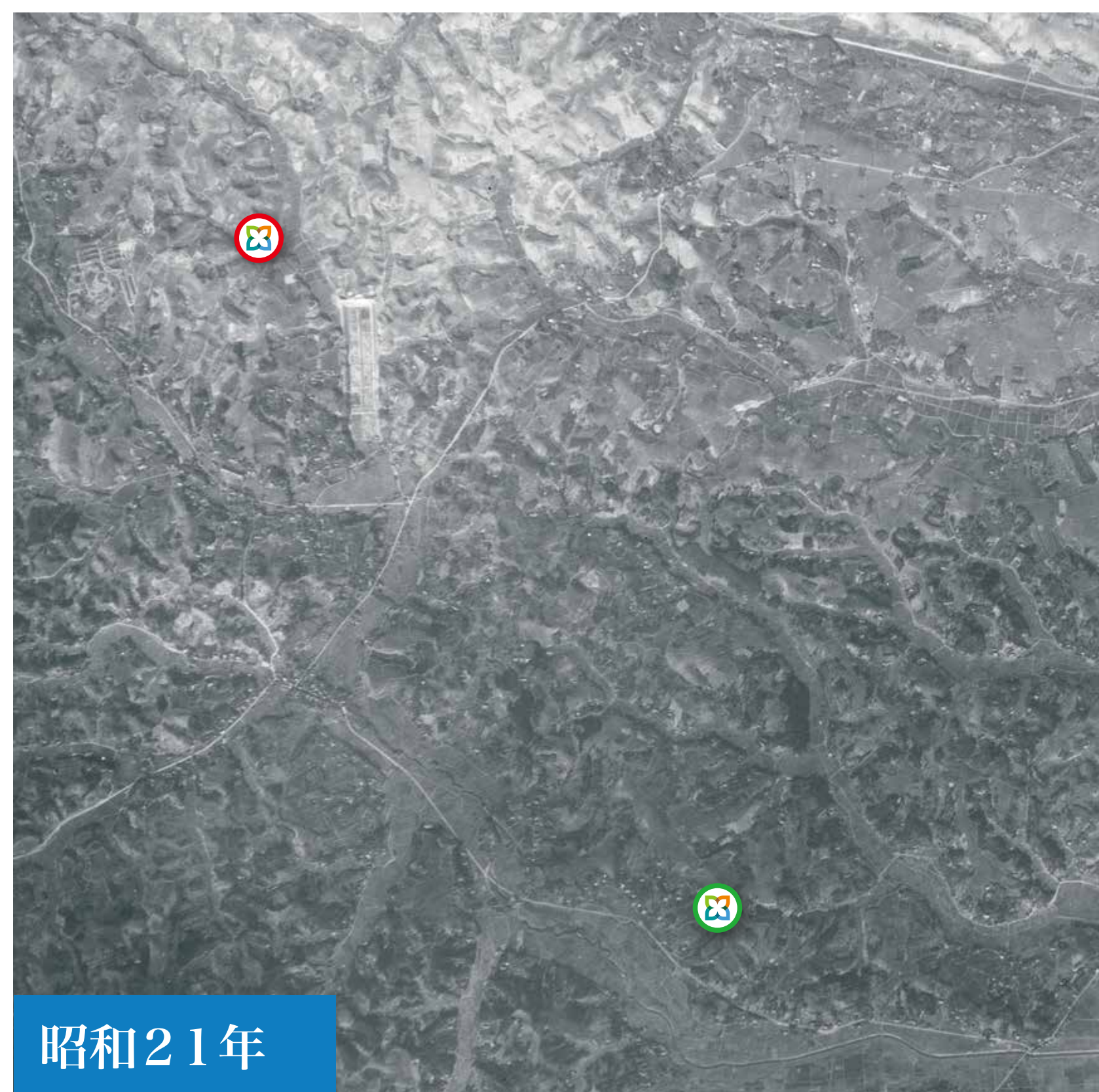


平成5年

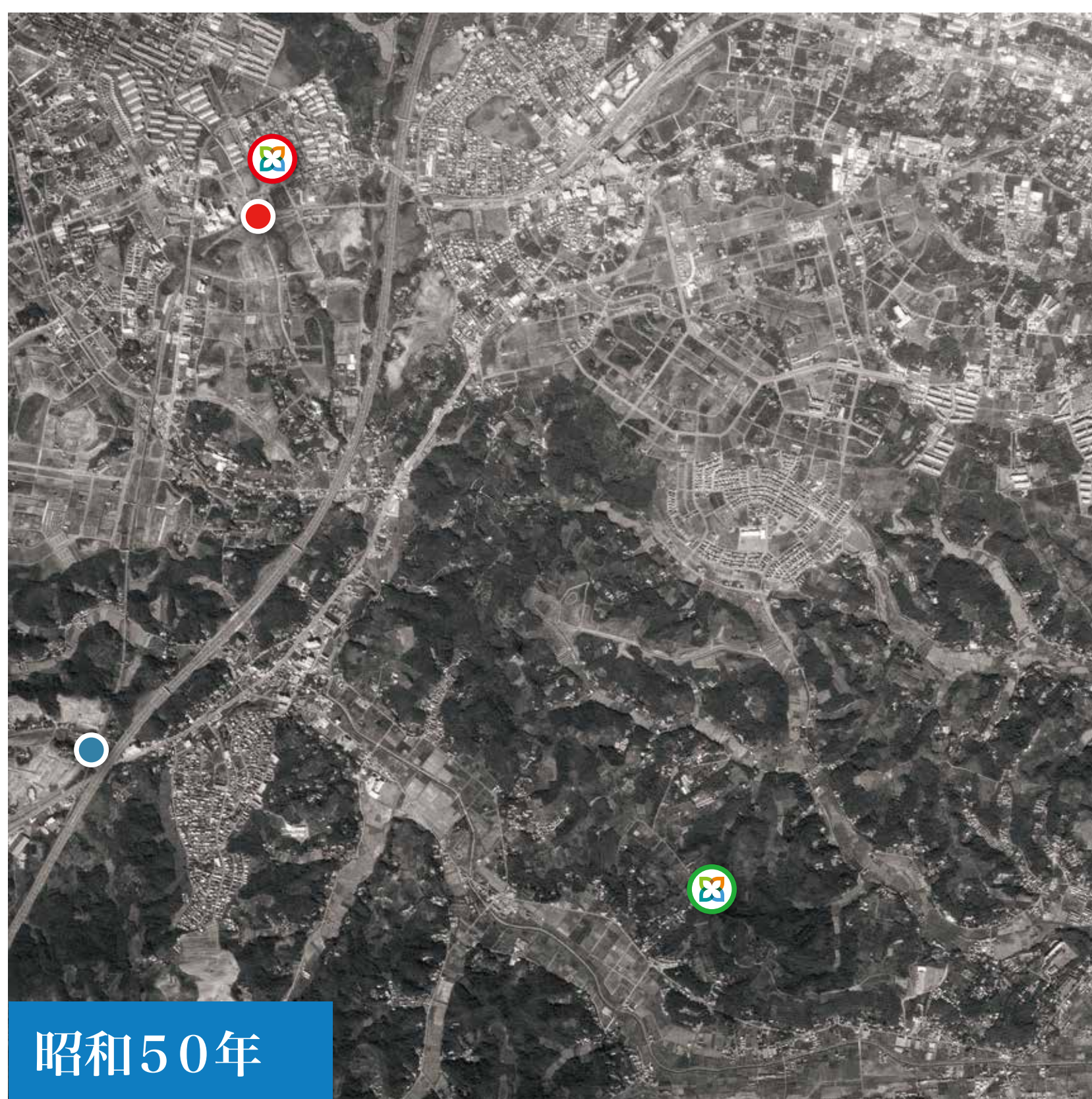
ひろたりあん通信提供

建設中の横浜市歴史博物館。センター北駅とセンター南駅の中間、大塚交差点より撮影

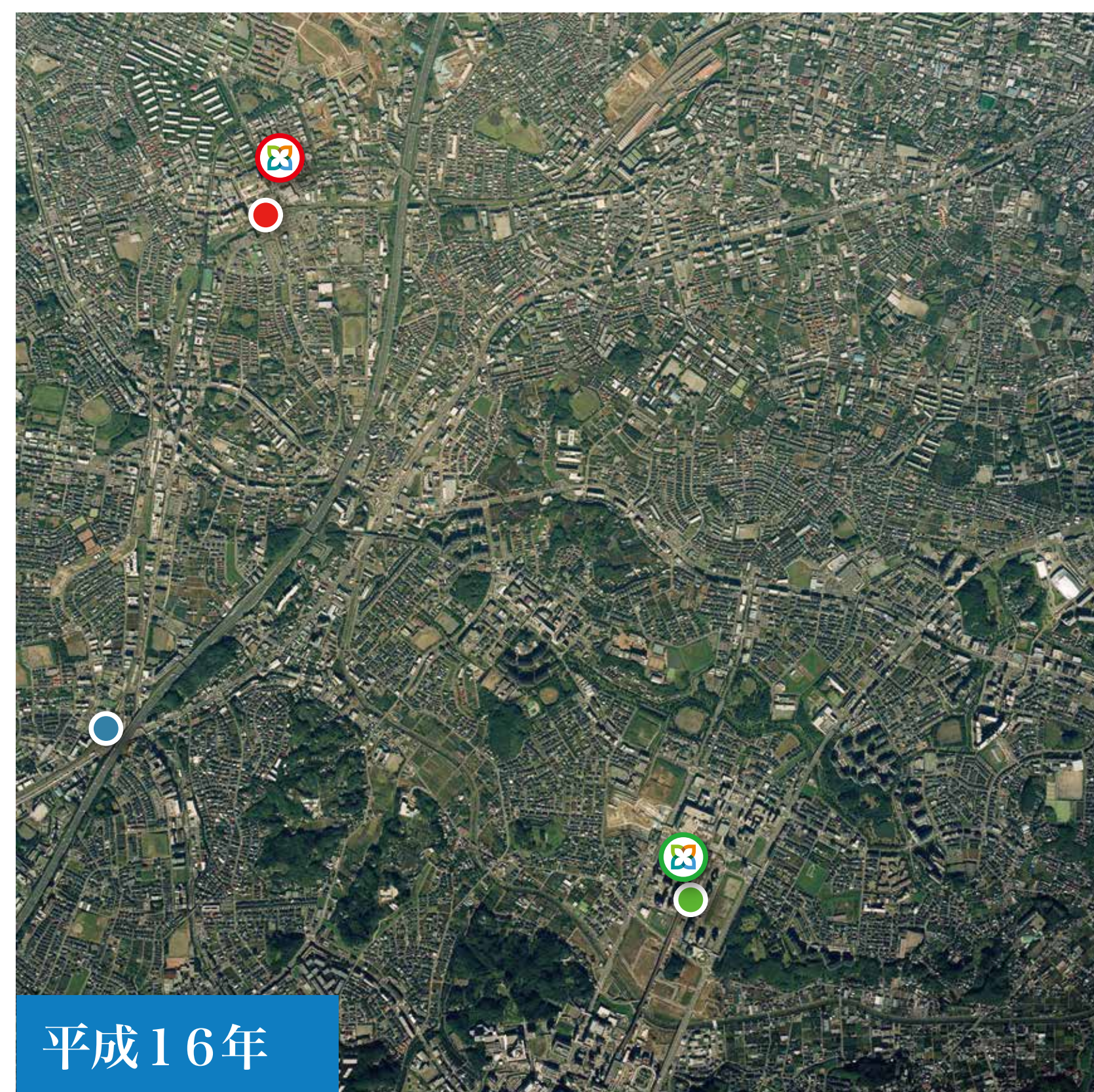
上空からみた たまプラーザ・港北ニュータウンエリア



昭和21年



昭和50年



平成16年

ⓧ : 港北出張所 ⓧ : たまプラーザ支店
● : 江田駅 ● : センター北駅 ● : たまプラーザ駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ